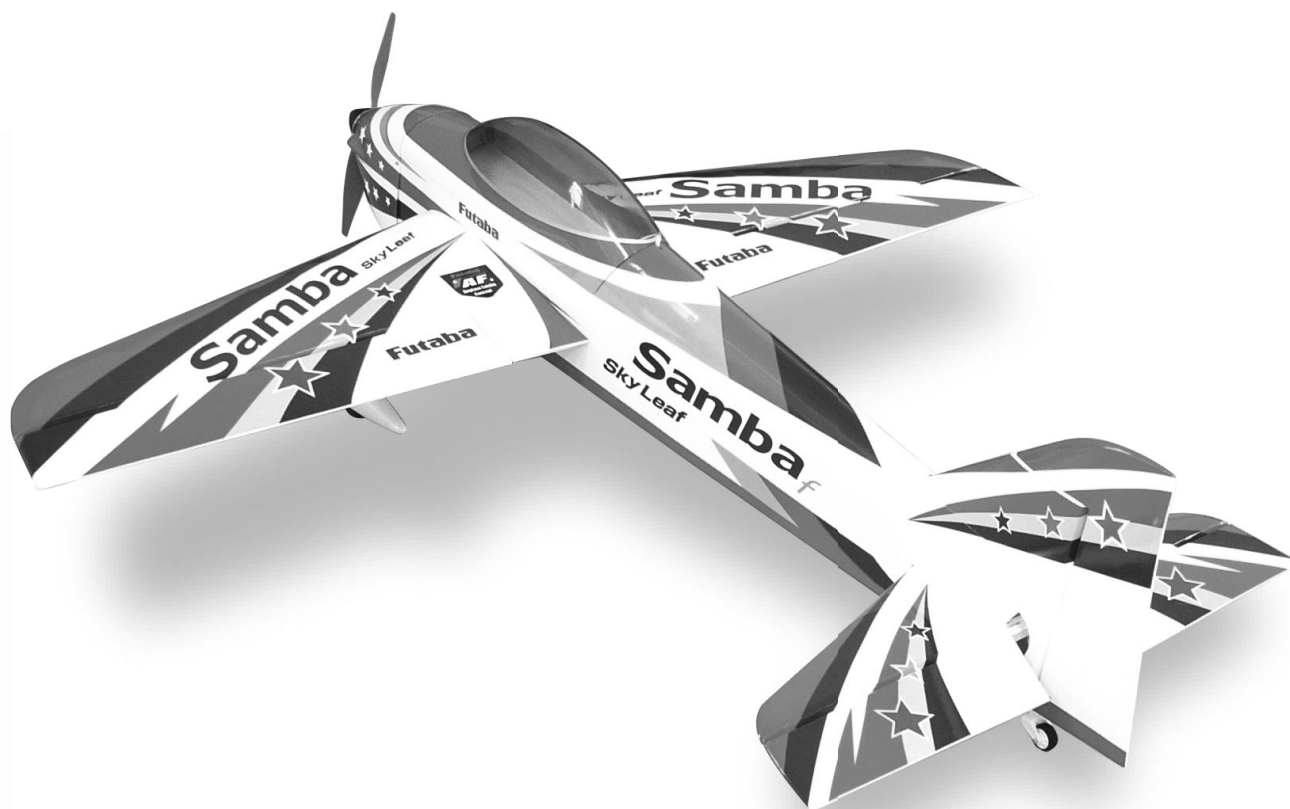


Futaba

SkyLeaf **Samba**_f

スカイリーフ サンバ f
バルサ - フィルム貼済み電動RCプレーン



組立説明書

1M23N28814

このたびは スカイリーフ RC プレーンをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。

ご使用前に、この組立説明書をお読みのうえ、正しく組立て安全にお楽しみください。
また、お読みになられたあとも大切に保管してください。

⚠️ 危険

❗ 組立について

この製品は完成機ではありません。お客様自身で正確に組み立て、自己の責任にて安全にお楽しみください。組立不良による事故に関しては弊社は一切責任をおいしません。

❗ 飛行について

この飛行機はラジコン飛行機の組立、飛行を十分マスターした中上級者が対象となっています。未経験の方には組立や飛行することができません。未習熟の方の飛行中の事故に関しては弊社は一切責任をおいしません。また、この飛行機は、室内機やパークプレーンではありません。高速で広範囲を飛行しますので、広い安全な屋外で飛行してください。

❗ アクロフライトについて

この飛行機は高度なアクロフライトができるように、舵の面積が大きく、舵角も多くとれるようになっています。アクロフライトは、はげしい動きで、予期せぬ失速がおきる危険性があります。また、舵角を大きくすると、ニュートラルの保持力が低下して、高速飛行時にフラッターが起きやすくなります。アクロフライトは、飛行技術がある方が、人や建物・自動車などに被害がおよばない安全な場所で、操縦者自身もヘルメット、防護メガネを付けるなど十分に考慮して、自己責任にてお楽しみください。

❗ 機体の強度について

この飛行機は飛行性能向上のため、極力軽量化しています。そのため機体強度は最低限となっています。機体を強く握ったり、ねじったり、うえにものに乗せたりすると変形したり破損することがあります。機体の取扱いには十分な注意が必要です。

✂️ 飛行のために必要な物

このセットは、飛行機の半完成キットです。飛行するためには RC 送受信機・RC 飛行機用モーター・バッテリーや充電器などが別に必要です。また組立には接着剤や工具が必要です。この説明書にしたがってそろえる必要があります。

✂️ 機体の精度について

この飛行機は軽量木製素材の半完成キットのため、若干の寸法誤差・ネジレがあります。組み立てには多少の加工や調整が必要になります。また、フィルムが温度によりシワ・タルミがある場合があります。

用途、改造等に関するご注意

1. 模型用以外に使用しないで下さい。

本説明書に記載されている製品は、用途が模型用に限定されております。

2. 改造、調整、部品交換した場合のご注意

本製品を弊社以外で改造、パーツ交換などの手が加えられた場合、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承下さい。

安全にお使いいただくために



表示の意味

本書の中で次の表示がある部分は、安全上で特に注意する必要のある内容を示しています。

表示	意味
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。または、軽傷、物的損害が発生する可能性が高い場合。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合。ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。

図記号： ； 禁止事項

； 必ず実行する事項



動力用リチウムポリマーバッテリーに関する注意事項

危険

- 購入されたバッテリーメーカーの安全に関する注意事項をよくお読みください。
- 一般にリチウムポリマーバッテリーは、墜落や衝突などで機体に強い衝撃が加わった場合に発火する可能性があります。
- 墜落や衝突の際に使用していたリチウムポリマーバッテリーは再使用しないでください。
- 墜落や衝突などで機体に強い衝撃が加わった場合は、すぐに機体からバッテリーを取り外して防火できる場所に保管してください。



組立時の注意

危険

- 組立説明書にしたがって正確に組み立てる。
 - 組立不良や改造をすると空中分解や墜落する危険性があります。
- 重心位置は指定の範囲内にする。
 - オモリなど使用して必ず指定の範囲内にしてください。指定範囲をはずれると不安定になり墜落します。
- 各舵の動作方向を十分に確認する。
 - 舵の動作方向を間違えると操作不能で墜落します。
- モーター・プロペラ・バッテリーは指定の範囲内のものを使用する。
 - 指定外のものを使用すると操縦不能や空中分解で墜落します。
- 機体のねじれや曲がりは修正する。
 - ねじれたり曲がったりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
- リンケージは軽くスムーズにひっかかりのないようにする。
 - リンケージが渋かったりひっかかりたりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
- エンジンは搭載しない。
 - この機体の動力はモーター専用です。エンジンを搭載すると振動などにより破損・墜落します。
- 主翼をカンザシパイプに挿しこむときは、まっすぐに挿入しムリにこじ入れない。
 - 曲がった状態でムリに差し込むと翼内部が破損し空中分解して墜落します。

警告





- 小さなお子様のいる場所での組立はしない。
 - 小さな部品やビニール袋などをくちにいれる危険性があります。
- 換気の悪い場所で接着剤や洗浄剤を使用しない。
 - 中毒になる危険性があります。
- カッターやドリル、キリ、ニッパー、はんだコテ、アイロン、ドライヤーなどを使用する場合は、けがやヤケドに十分に注意する。
 - 組立には工具が必要です。危険なものもありますので十分注意してください。



飛行時の注意

⚠ 危険



- ⊘ 周囲の電波の影響により電波が届かなくなる場合があります。ご使用前の動作テストや使用中にこのような状況がある場合は使用を中止してください。
- ⊘ 操作中、送信機を他の送信機や携帯電話等の無線装置に接触させたり近づけたりしない。
■誤動作の原因となります。
- ⊘ 雨の日、風の強いときや夜間は絶対に飛行させない。
■機体内部に水が入り空中分解したり、操縦不能となったり、見失ったりして墜落します。
- ⊘ フックバンドを首にかけたままで、モーターのスタート操作をしない。
■フックバンドが回転するプロペラへ吸い込まれると大ケガとなります。
- ⊘ 疲れているとき、病気のとき、酔っぱらっているようなときは飛行させない。
■集中力を欠いたり、正常な判断ができないため思わぬ操作ミスをおかして墜落します。
- ⊘ 次のような場所では飛行させない。
・人の近くや上空 ・法律、条令で飛行が禁止されている場所
・家屋、学校、病院、道路などの人の集まる場所の近く
・高圧線、高い建造物または通信施設の近く
■電波の混信や障害物などにより墜落したり、万一、プロポや機体の故障により墜落した場合、人命を奪ったり、家屋等の損傷をひきおこします。
- ! 安全のため、常に機体が視認できる状態で飛行する。
■建物等の大きな障害物の背後への飛行は見えないばかりでなく、通信品質も低下し機体のコントロールができなくなる恐れがあります。
- ! 飛行前には必ず機体の点検を実行する。
■機体、プロポ等のどこかに一つでも異常があれば墜落します。
*毎回飛行前に、機体各部の点検をおこなってください。各舵を動作させてみて、各舵が追従動作することを確認します。追従動作しない場合や異常な動作をする場合は飛行しないでください。
- ! 安全上、必ずフェイルセーフ機能の設定を行なう。
■スロットルのフェイルセーフ設定は通常の場合最スローになるように設定します。また、状況に合わせて安全な位置に設定してください。正しく電波を受信できなくなった場合に、フルハイで墜落すると大変危険です。
- ⊘ 使用中、使用直後には、モーター、モーターコントローラー等には触れない。
■高温になっているためヤケドします。
- ! <電源スイッチを入れるとき>
送信機のスロットルスティックを最スローの状態とした後、
1. 送信機の電源スイッチを入れてから
2. 受信機側の電源スイッチを入れる
- ! <電源スイッチを切るとき>
モーターを停止させた後、
1. 受信機側の電源スイッチを切ってから
2. 送信機の電源スイッチを切る
■操作の順番を逆にすると、不意にプロペラが回転し、ケガをします。
*最スロー：モーターがストップする方向。
- ! 機体やプロポの調整を行うときは、必ず、モーター配線ははずして行う。
■不意にプロペラが回転した場合ケガをします。
- ⊘ 急降下などで機体のスピードを上げすぎない。
■高速になりすぎるとフラッターで機体が破損し墜落します。
- ⊘ 高速時に急なエレベーター操作をしない。
■失速して操縦不能になります。また、過度のGがかかり空中分解して墜落します。

-  過度の低速状態にしない。
■失速して操縦不能になり墜落します。
-  人や建物・自動車に向かって飛行しない。
■激突して死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。
-  回転中のプロペラの前方や側面に、手や体を置かない。
■プロペラが破損した場合、死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。
-  プロペラの回転面に、手や体を置かない。
■プロペラに触れた場合、死亡や大ケガのおそれがあります。






保管・廃棄時の注意

警告

-  機体・バッテリー等を幼児の手の届く所に放置しない。
■触って作動させたり、電池をなめたりすると、ケガをしたり、化学物質による被害を受けます。
-  機体・バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしない。また、分解したり、改造したりしない。
■破裂、異常発熱、漏液、有毒ガス等により、ケガ、ヤケド、失明等をします。





注意

-  機体は次のような場所に保管しない。
 - ・極端に暑いところ (30℃以上)、寒いところ (-10℃以下)。
 - ・直射日光があたる場所。
 - ・湿気の多いところ。
 - ・振動の多いところ。
 - ・ほこりの多いところ。
 - ・蒸気や熱があたる場所。■上記のようなところに保管すると、変形や故障の原因となります。
-  長期間使用しない場合は、バッテリーを送信機や機体から取り出して、湿気の少ない場所に保管する。
■そのまま放置すると、バッテリーの漏液により、機体の性能や寿命を低下させます。
-  機体の上にものを乗せたり、ストレスのかかる状態で保管しない。
■この飛行機は軽量木製素材で作られています。上にものを乗せたり、ストレスがかかると、変形したりネジレが発生して操縦不能になります。

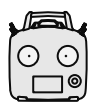


その他の注意

注意

-  燃料、廃油、排気等を直接プラスチック部分にかけない。
■そのままにしておくと、プラスチックが侵され、破損します。
-  送信機、受信機、サーボ、モーターコントローラー、その他オプションパーツは、必ず指定範囲内の組み合わせで使用する。
■指定範囲外の組み合わせにより発生した損害等につきましては、弊社では責任を負いません。たとえば指定より大きなモーターを搭載すると、機体バランスが損なわれ、不安定になったり、過速度により空中分解したりします。必ず取扱説明書に記載されている範囲内のものを使用してください。
-  この飛行機の材料は可燃物が多く使用されています。火災には十分ご注意ください。
■飛行時以外は必ずバッテリーをはずし、火気のないところに保管してください。
-  ラジコン保険に加入する。
■ラジコン保険の加入申し込みはラジコン操縦士登録代行店に問い合わせてください。

✂ 1 キットのほかに必要なもの



- 4チャンネル以上の空用送信機 / 受信機 (Futaba 6K、10J、14SG、16SZ、18SZ、18MZなどのT/Rセット)
- (サーボなしセットの場合はマイクロ・サーボ4個)
- サーボ用延長コード
100mm×4本、400mm×1本、500mm×1本
(サーボのケーブル長が200mmの場合)
- 動力モーター (O.S. OMA-3820-1200モーターなど)
- モーターコントローラー (Futaba MC951H/Aなど)
- 動力用リチウムポリマーバッテリー (3セル 2,000 ~ 2,600mAh)
- リチウムポリマー用充電器
- プロペラ (10×7 ~ 11×7)
- スピンナー (直径 50mm 前後の物)

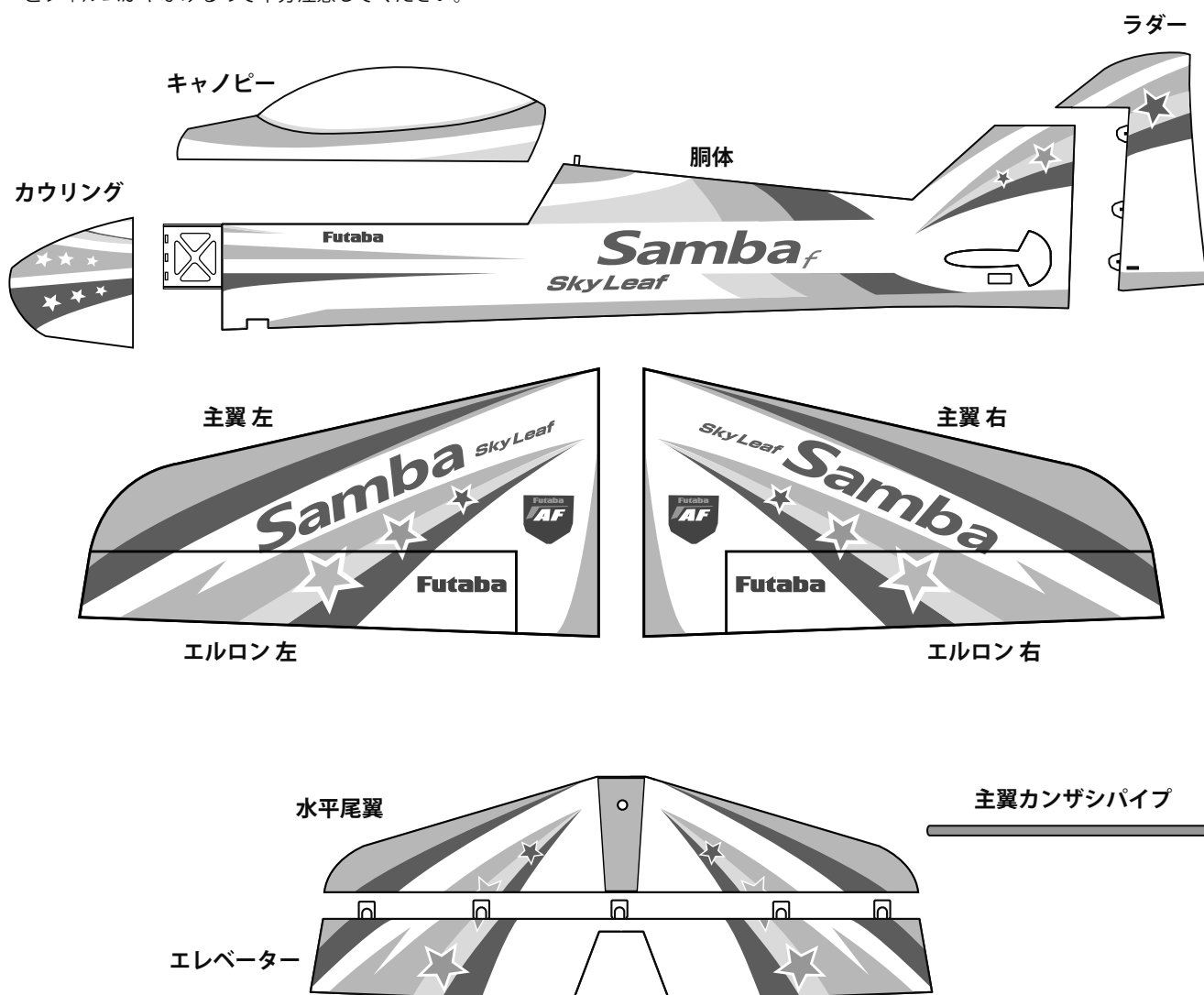


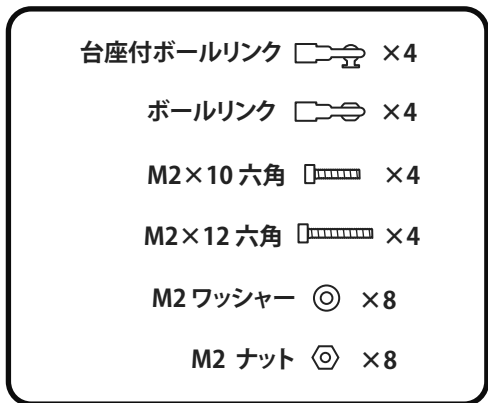
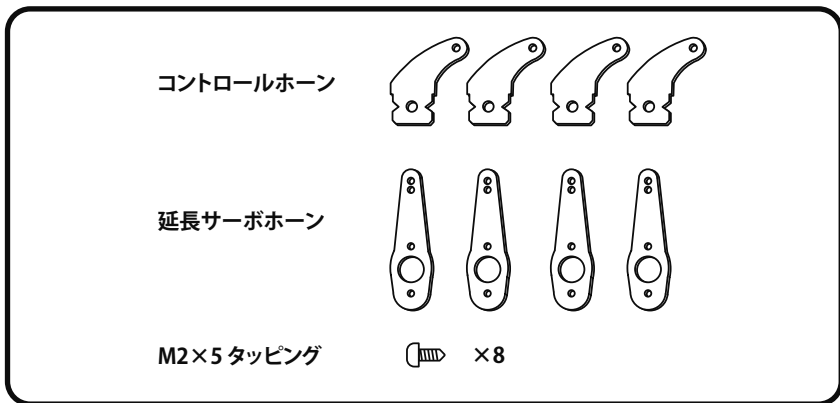
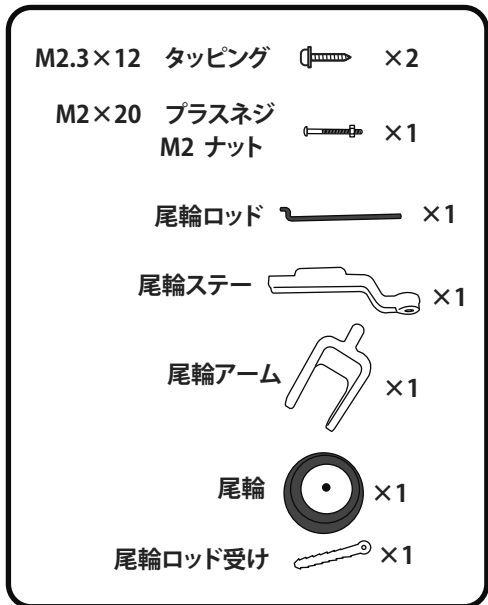
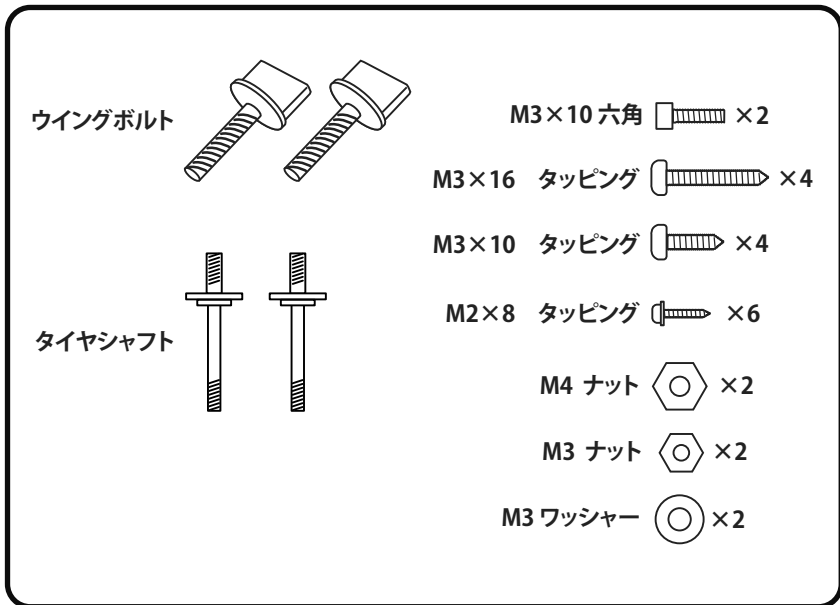
- カッター
- ニッパー
- ラジオペンチ
- ハサミ
- プラスドライバー
- 六角ドライバー
- キリ
- ドリル
- テープ
- マジックテープ
- 低粘度瞬間接着剤
- 瞬間接着剤用促進剤
- マジックペン
- 金ヤスリ
- サンドペーパー など

✂ 2 キットに付属しているもの

※各パーツの形状、デザインは変更される場合があります。

※フィルムにシワがある場合、ドライヤーの低温でシワをのばしてください。高温すぎるとフィルムがやぶけるので十分注意してください。





注! ロッドの長さは調整が必要な場合があります。もしも、長い場合は、カットしてください。

エルロン用ロッド

エルロン用ロッド

ラダー用ロッド

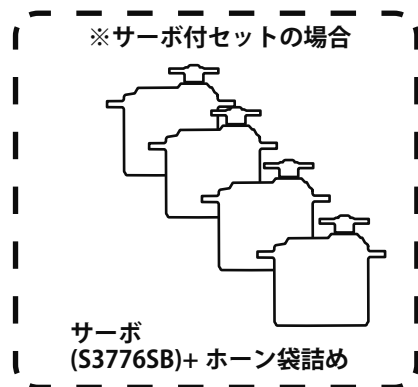
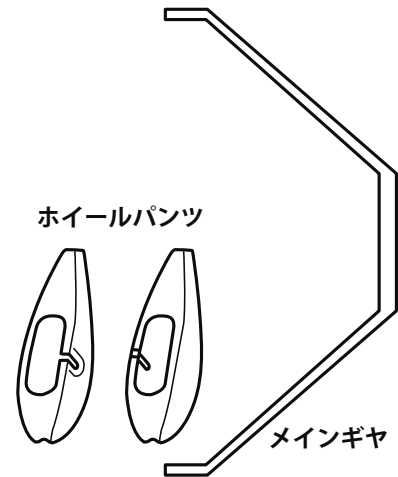
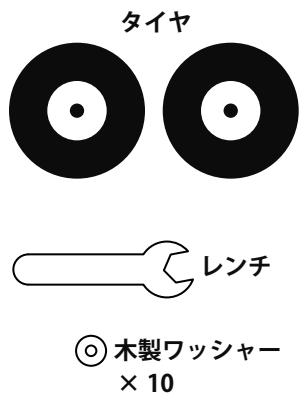
エレベーター用ロッド

ナイロンバンド

ベルクロテープ

ベルクロテープ

ベルクロバンド

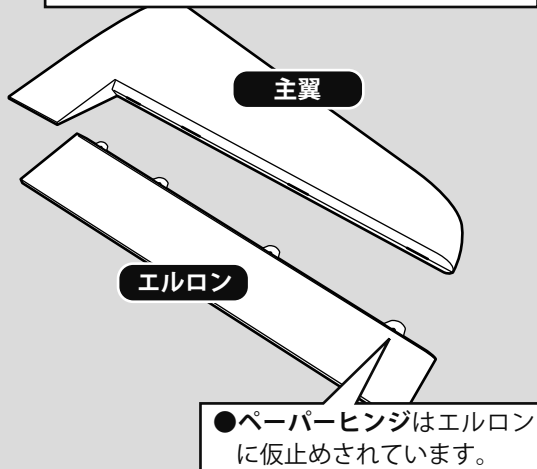


※ねじ・ナット・ワッシャー類は余分に入っている場合があります。
 ※パーツは変更される場合があります。

3 主翼の製作

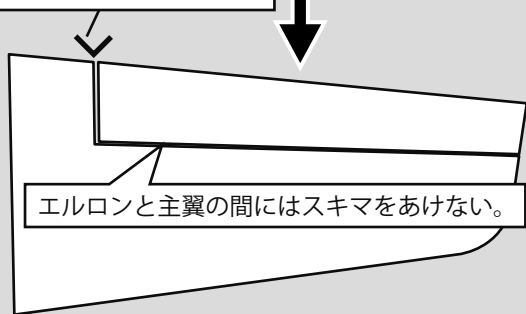
1

●主翼とエルロンは仮組みされています。
!各ヒンジは接着されていませんので接着する必要があります。



2

ここにはスキマがあきます。



3

●エルロンのペーパーヒンジすべてに低粘度瞬間接着剤を浸透させます。

低粘度瞬間接着剤

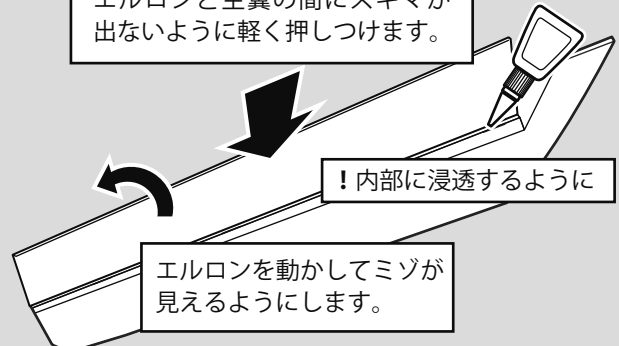


●エルロンを下にして表と裏からしっかり浸透させます。

4

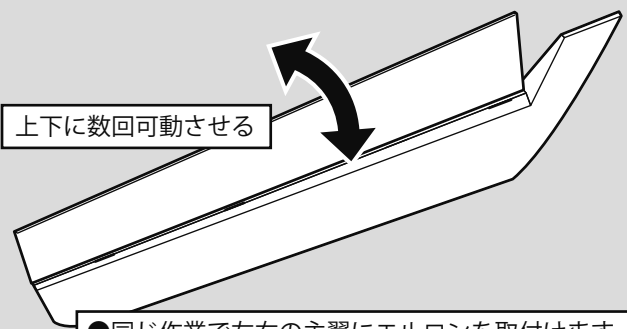
●主翼側ヒンジ4カ所表裏に瞬間接着剤を流します。エルロンを上下に動かしてヒンジのミゾに確実に流し込みます。

エルロンと主翼の間にスキマが出ないように軽く押しつけます。



5

●接着剤乾燥後にエルロンを上下に可動させます。はじめは動きがしぶいですが数回上下させるとスムーズに可動するようになります。エルロンがぬけてしまう事のないように、しっかりチェックしてください。



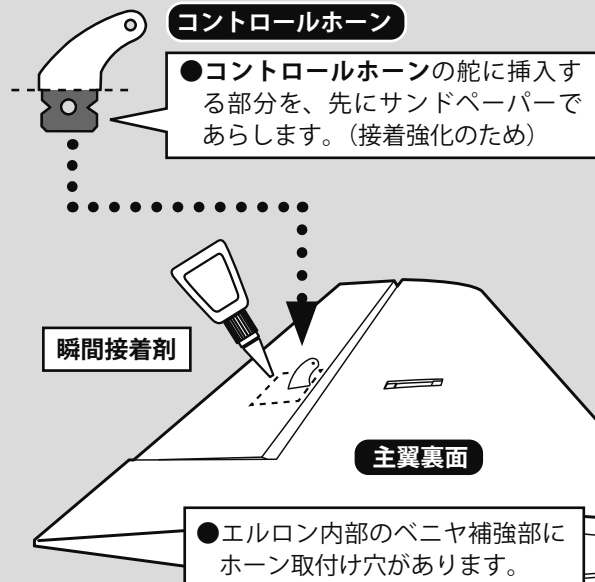
●同じ作業で左右の主翼にエルロンを取付けます。

6

●左右のエルロンにコントロールホーンを接着します。

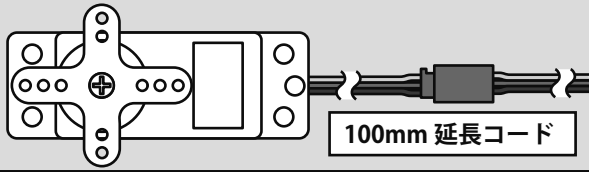
コントロールホーン

●コントロールホーンの舵に挿入する部分を、先にサンドペーパーであらします。(接着強化のため)



7

- エルロンに使用するサーボ2個に100mmの延長コードをつけます。

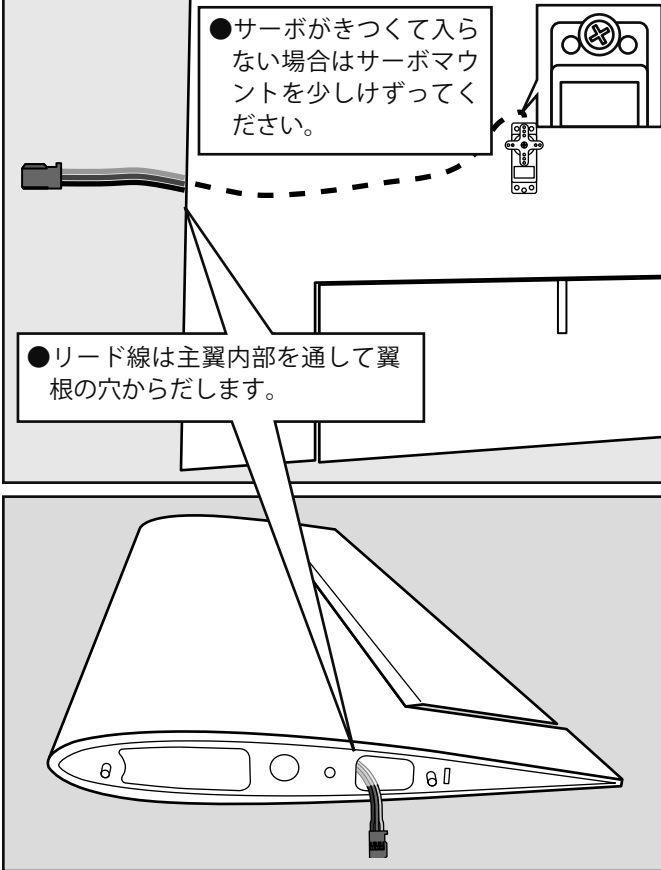


8

- サーボマウントに下穴をあけて、サーボに付属しているタッピングねじ2本でサーボをとりつけます。

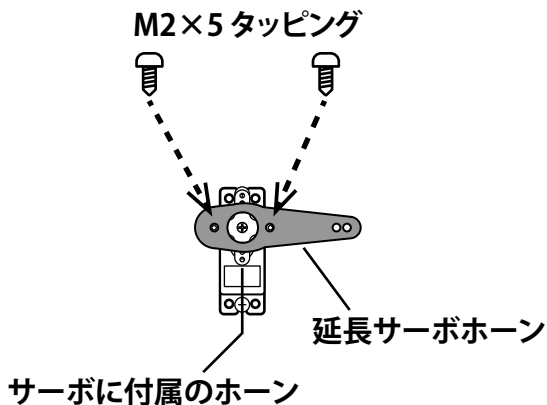
- サーボがきつくて入らない場合はサーボマウントを少しげずってください。

- リード線は主翼内部を通して翼根の穴からだします。



9

- サーボに付属しているホーンの上から延長サーボホーンをねじ止めします。

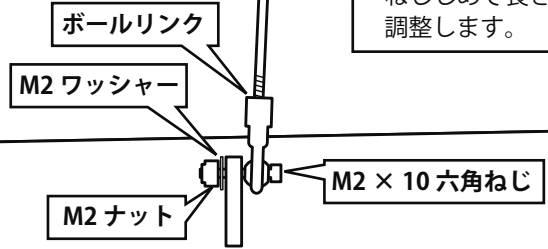


10

- サーボ側にボールリンク台座付を使用します。

- ホーンの内側の穴を使用します。

- ボールリンクのねじしめで長さを調整します。

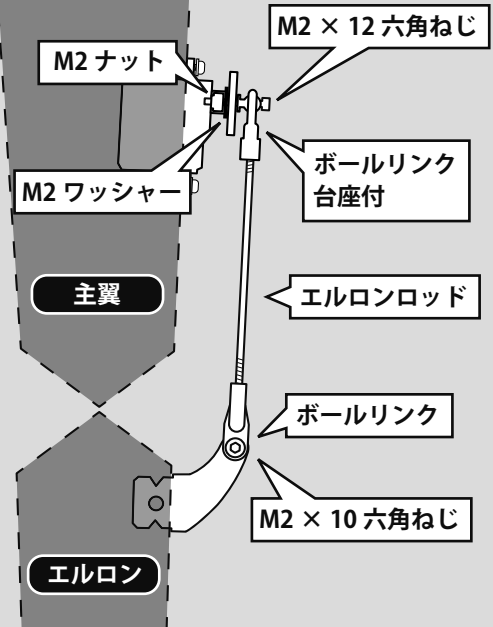


- サーボを受信機につないでプロポの電源をいれニュートラルにします。図のようにリンケージしてサーボのニュートラルでエルロンがまっすぐになるようにロッドの長さを調整してください。

- 同じ作業で左右の主翼にサーボを取付けます。

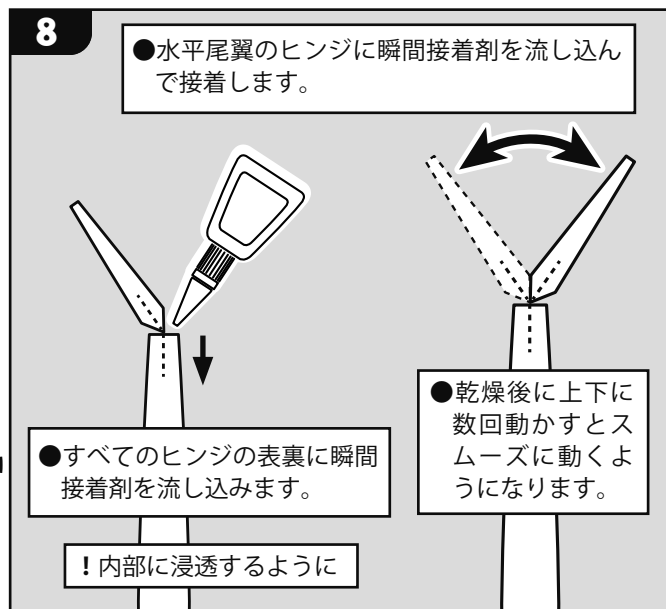
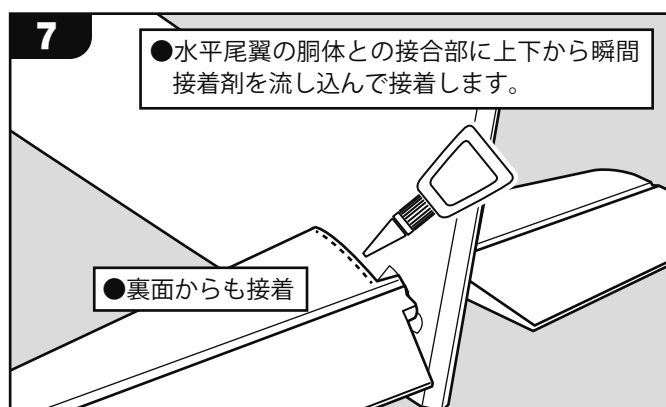
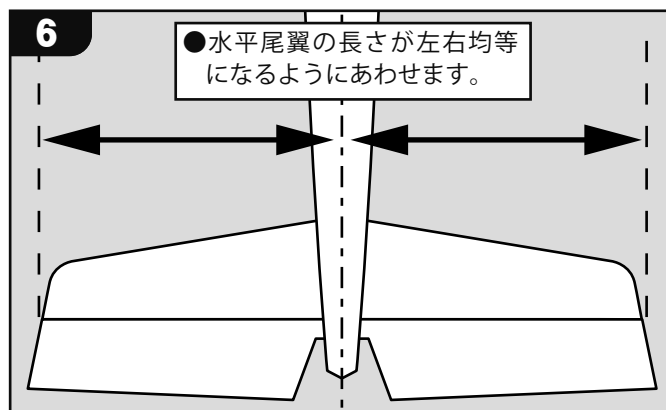
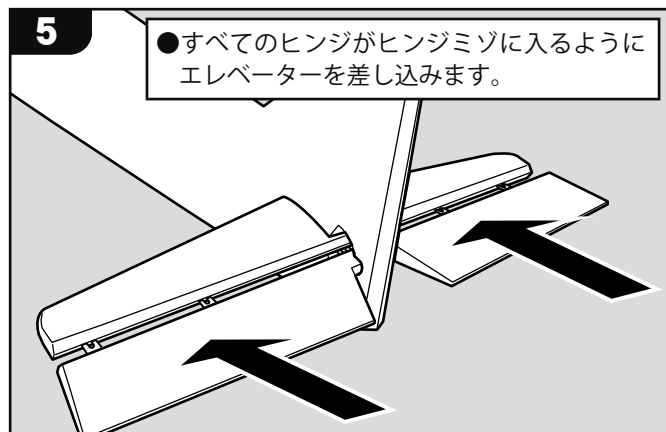
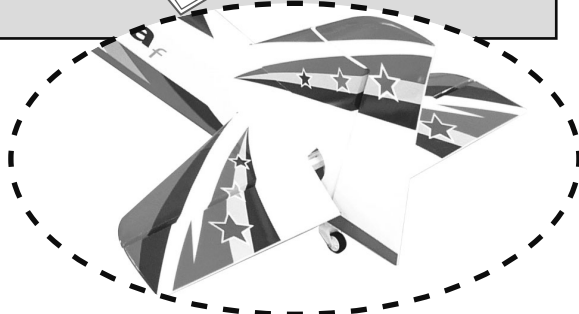
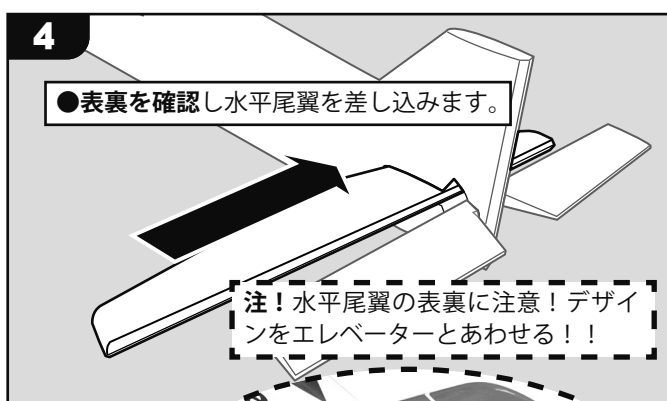
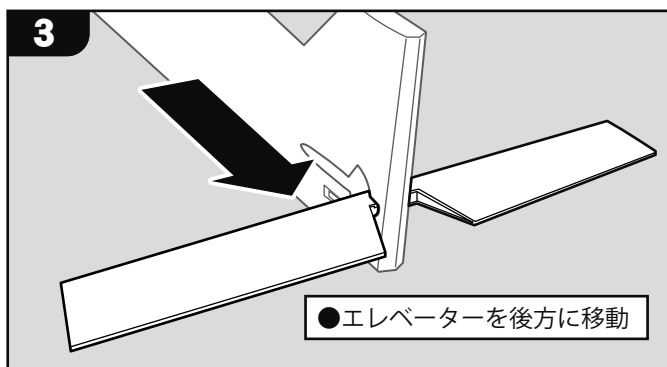
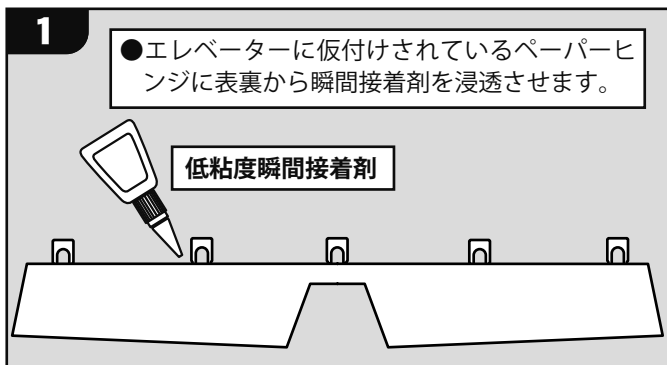
11

- サーボ側に台座付ボールリンクを使用します。台座付のほうに長いM2ねじを使用します。



リンケージはスムーズに動作するようにすること！

4 尾翼の製作



9

- エレベーターにコントロールホーンを接着します。

コントロールホーン

- コントロールホーンの舵に挿入する部分を、先にサンドペーパーであらします。(接着強化のため)

瞬間接着剤

エレベーター

- エレベーター下面の補強部にホーン取付け穴があります。

10

- ラダーに仮付けされているペーパーヒンジに表裏から瞬間接着剤を浸透させます。

低粘度瞬間接着剤

11

- ラダーにコントロールホーンを接着します。

コントロールホーン

- コントロールホーンの舵に挿入する部分を、先にサンドペーパーであらします。(接着強化のため)

ラダー

瞬間接着剤

- ラダー側面の補強部にホーン取付け穴があります。

12

- すべてのヒンジがヒンジミズに入るようにラダーを差し込みます。

13

- 垂直尾翼のすべてのヒンジ部に両側から瞬間接着剤を流し込んでラダーを接着します。

！内部に浸透するように

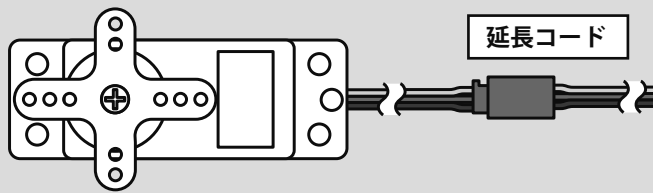
- ここにはラダー動作を妨げないようにスキマをあけます。

14

- 乾燥後にラダーを左右に数回動かすとスムーズに動くようになります。

15

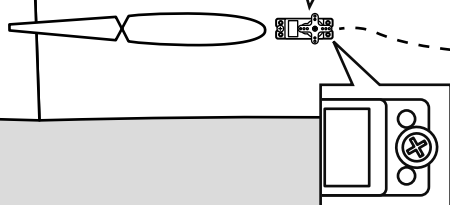
- エレベーターに使用するサーボに 400mm の延長コード、ラダーに使用するサーボに 500mm の延長コードをつけます。



16

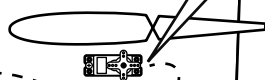
- エレベーターサーボを取付けます。

- サーボマウントに下穴をあけて、サーボに付属しているタッピングねじ 2 本でサーボをとりつけます。



- ラダーサーボを取付けます。

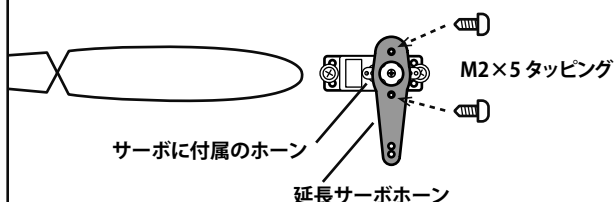
- サーボマウントに下穴をあけて、サーボに付属しているタッピングねじ 2 本でサーボをとりつけます。



- サーボがきつくて入らない場合はサーボマウントを少しけずってください。

17

- エレベーター・ラダーそれぞれ、サーボに付属しているホーンの上から延長サーボホーンをねじ止めします。

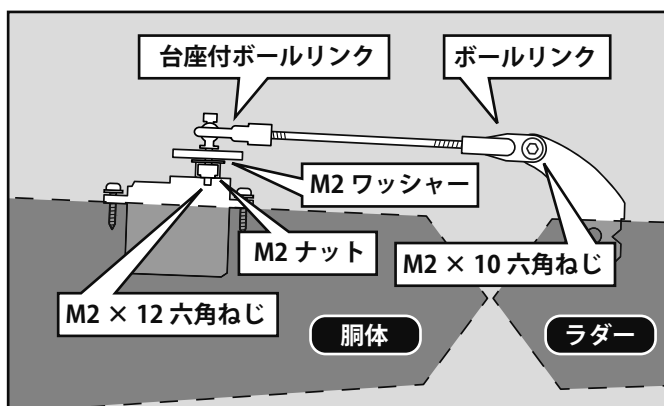
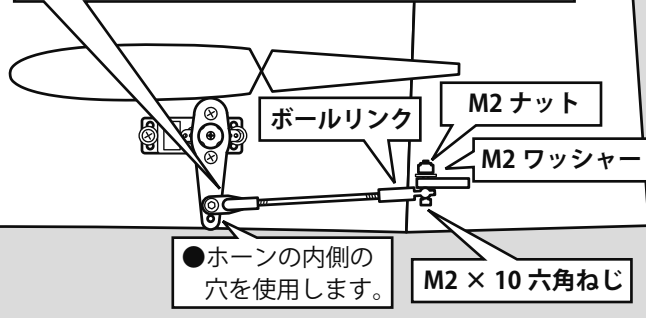


18

ラダーのリンケージ

- ！サーボ側に台座付ボールリンクを使用します。台座付のほうに長い M2 ねじを使用します。

- 長さを調整してニュートラル位置をあわせませす。



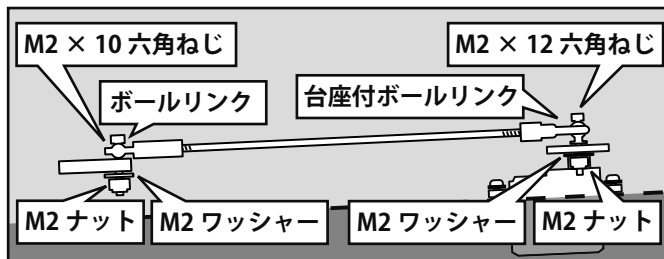
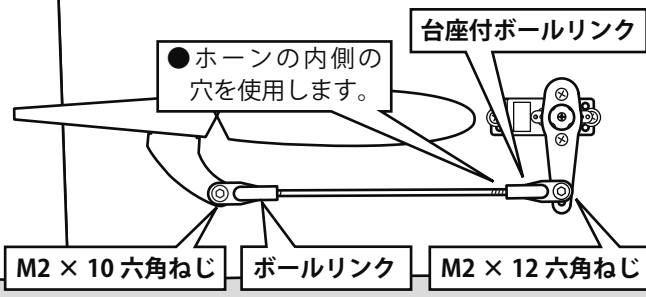
- サーボを受信機につないでプロポの電源をいれニュートラルにします。図のようにリンケージしてサーボのニュートラルで舵がまっすぐになるようにロッドの長さを調整してください。

19

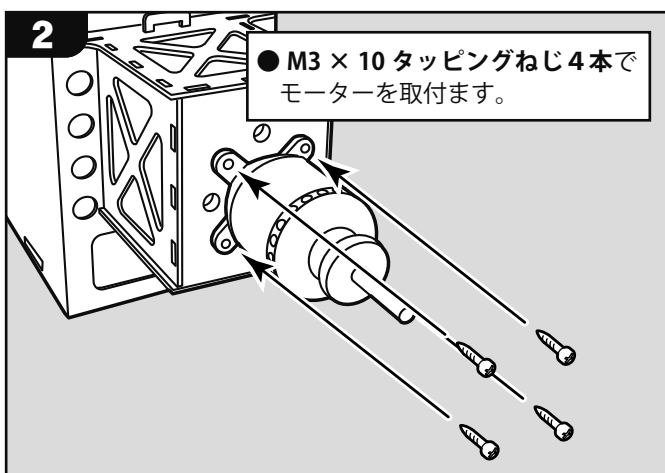
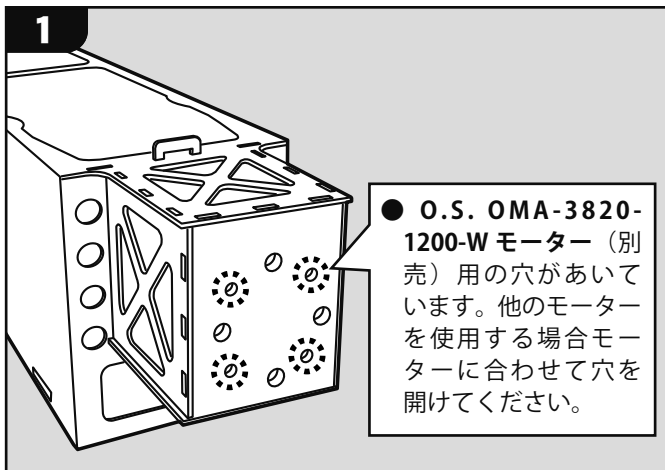
エレベーターのリンケージ

- ！サーボ側に台座付ボールリンクを使用します。台座付のほうに長い M2 ねじを使用します。

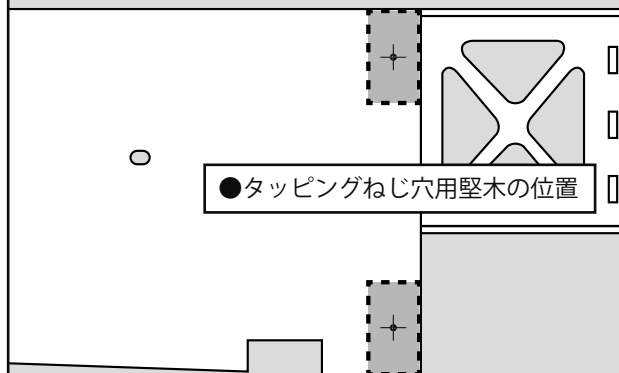
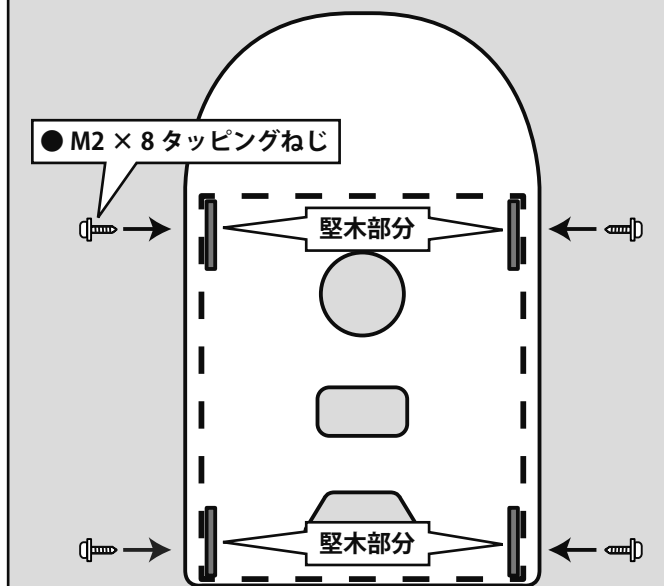
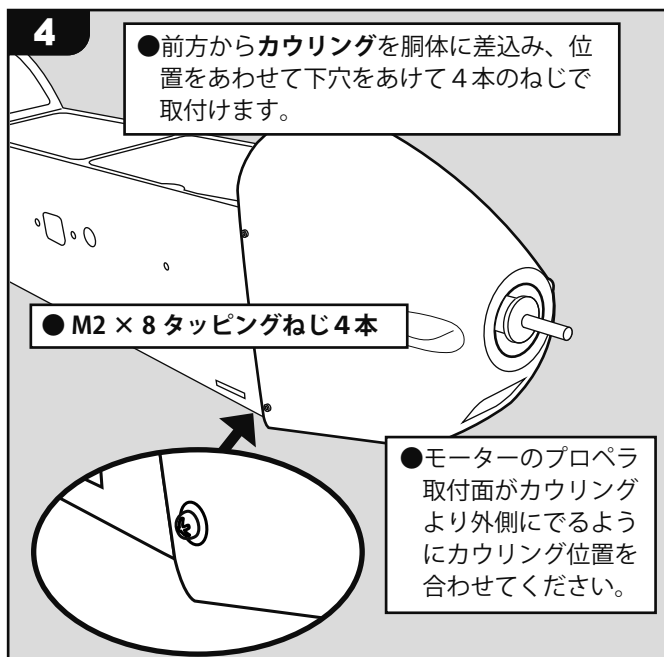
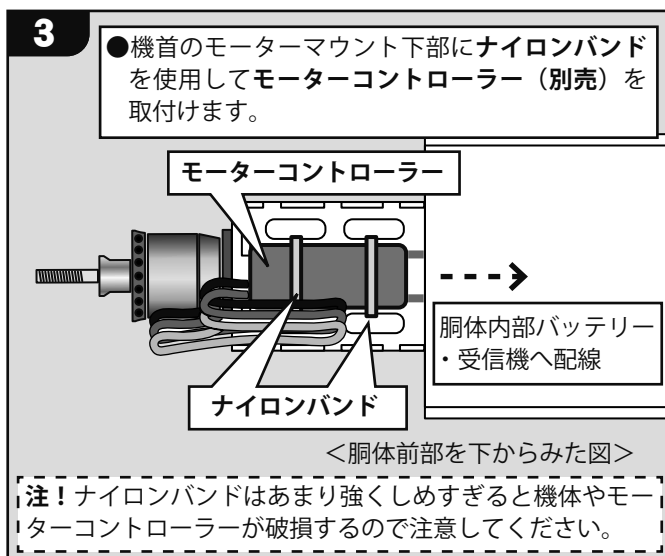
- ねじをしめてロッドの長さを調整します。



5 モーターの取付



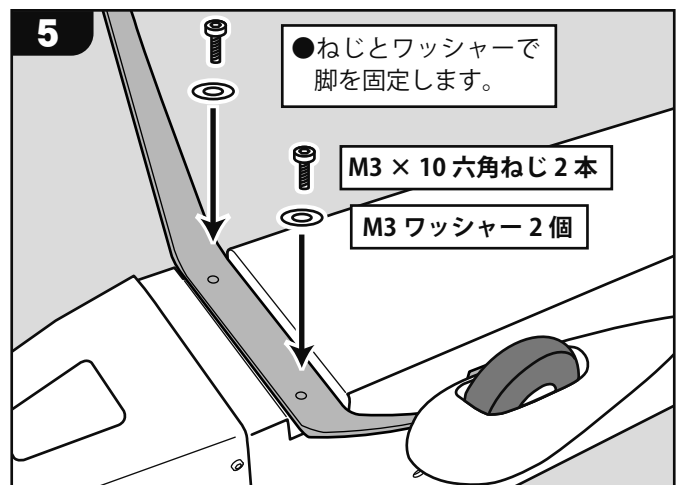
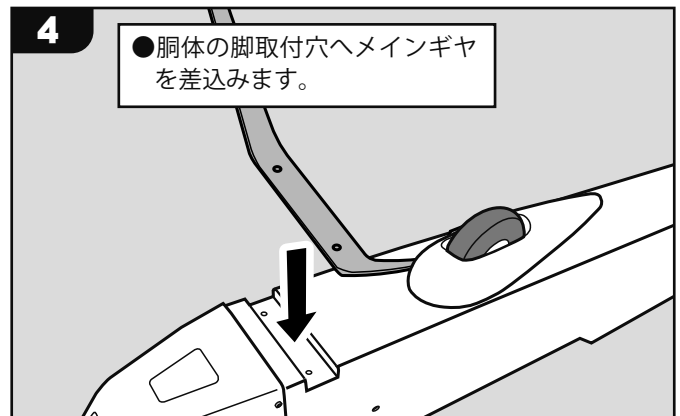
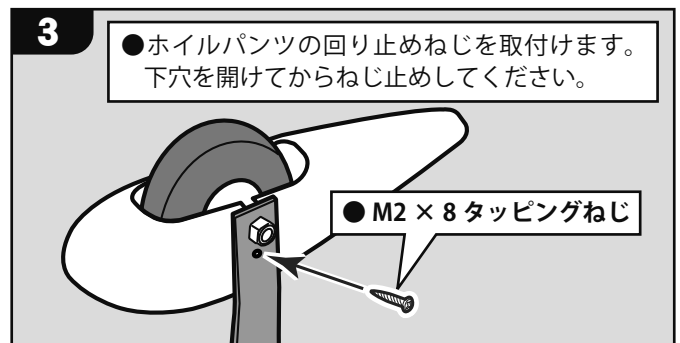
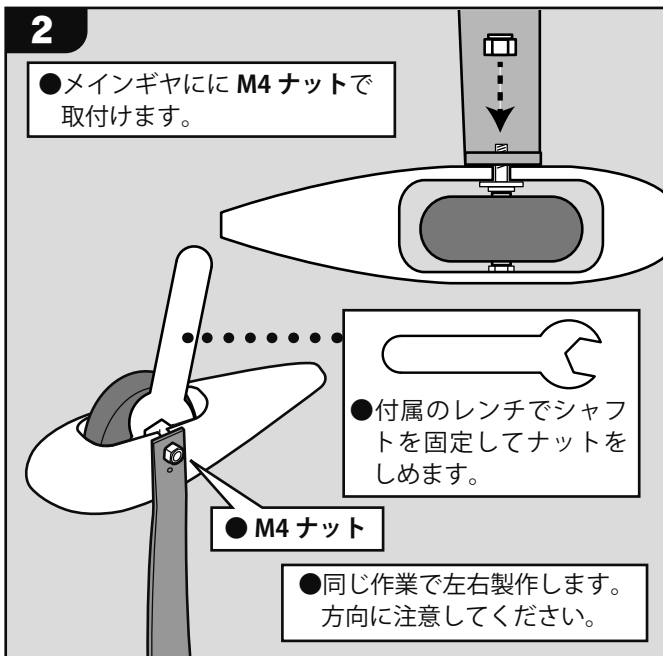
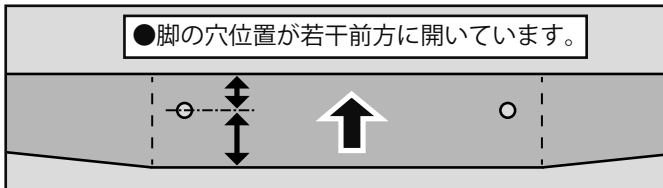
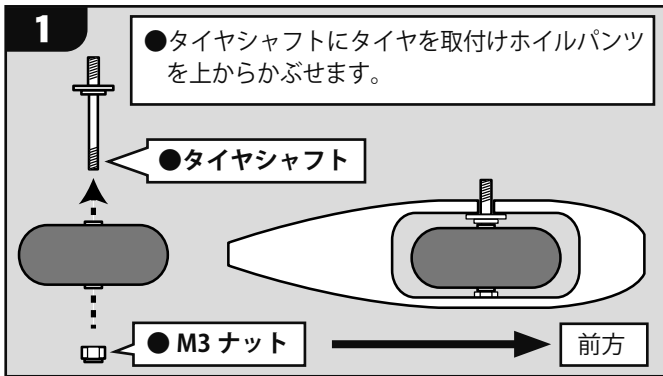
●カウリングを取付けてみて、モーター位置が後ろすぎるようでしたら**木製ワッシャー**をスペーサーとしてモーターとマウントの間にはさんで位置を調整してください。スペーサーを使用した場合は**M3 × 16 タッピングねじ**を使用してください。



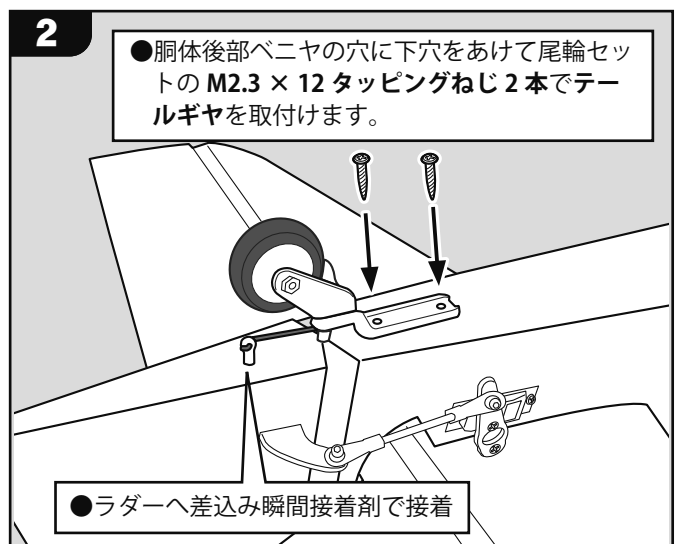
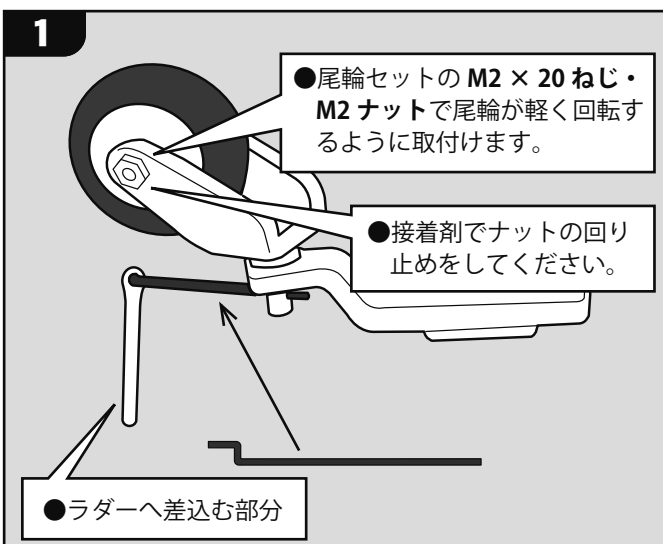
●図の部分に堅木があります。この範囲内にタッピングねじ穴をあけてください。

！堅木のない部分はタッピングが効きません。

メ6 メインギヤの取付



メ7 テールギヤの取付



8 受信機・バッテリー（別売）の取付

1

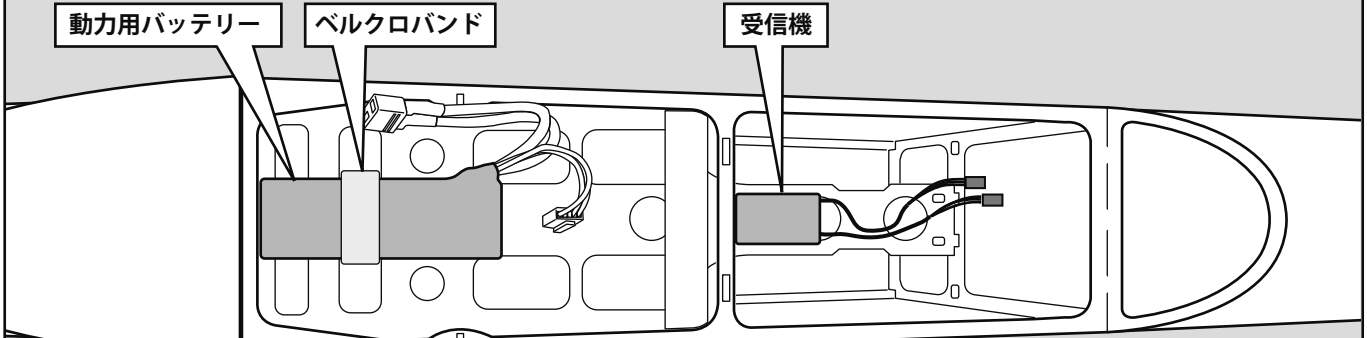
前 <胴体中央部を上からみた図>

●胴体内部にバッテリー・受信機を搭載して、それぞれモーターコントローラー・サーボと配線接続します。

動力用バッテリー

ベルクロバンド

受信機



ベルクロテープ
をバッテリー底面とメカ
プレートに貼付けてズレ
を防止します。

バッテリー

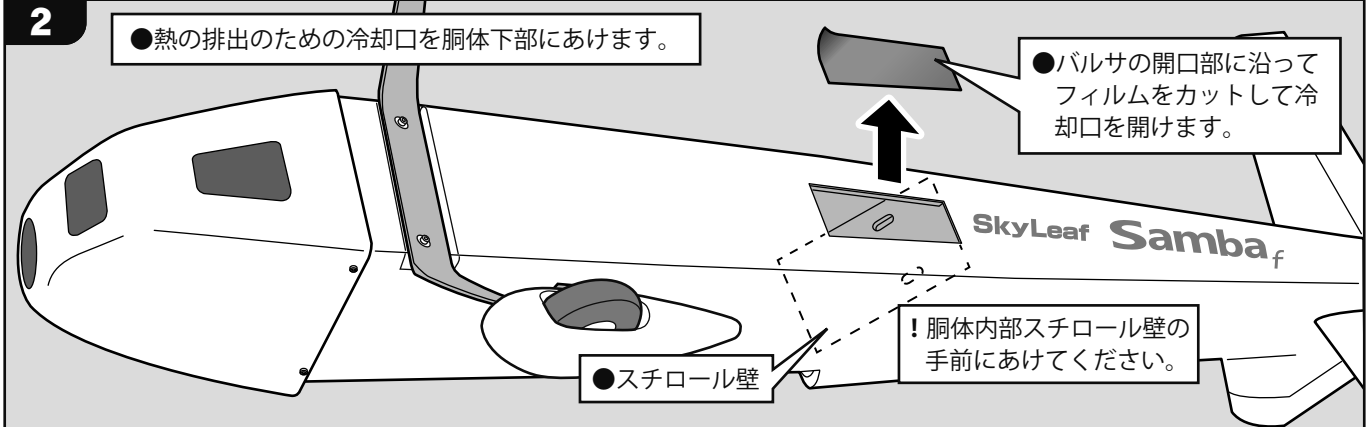
注！バッテリーは重量があるので
固定は確実にしておこないます。

受信機の左右エルロンチャ
ンネルに 100mm の延長コー
ドを接続します。

2

●熱の排出のための冷却口を胴体下部にあけます。

●バルサの開口部に沿って
フィルムをカットして冷
却口を開けます。



●スチロール壁

！胴体内部スチロール壁の
手前にあけてください。

3

スチロール壁

冷却口

エレベーターとラダーの配線
は胴体内部のスチロール壁の
穴を通します。



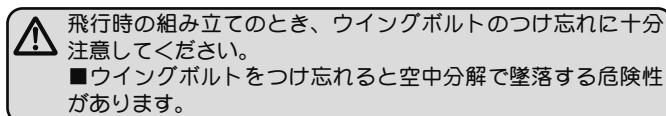
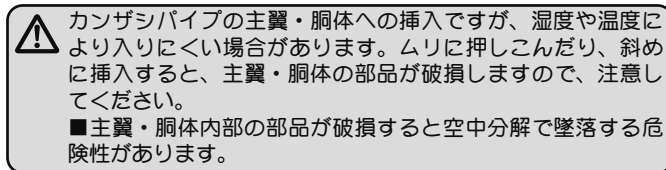
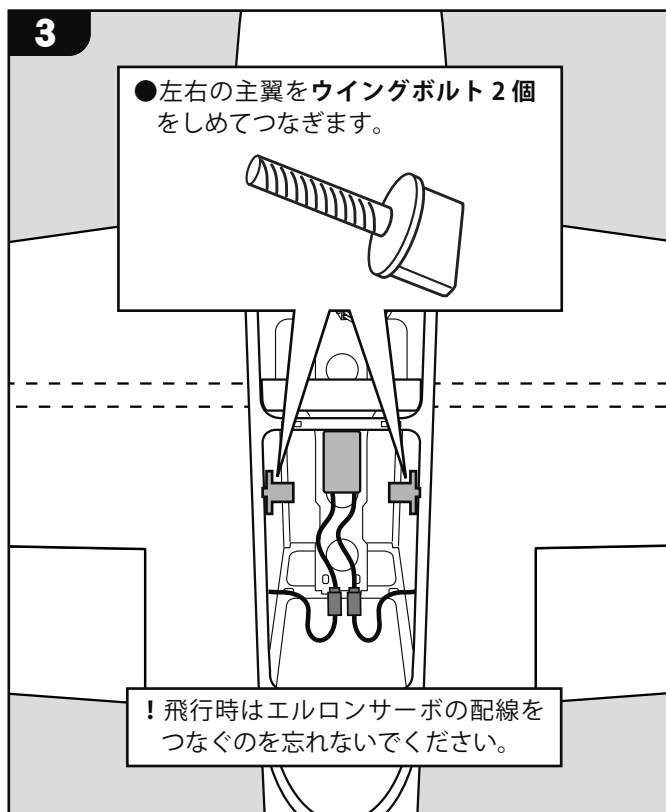
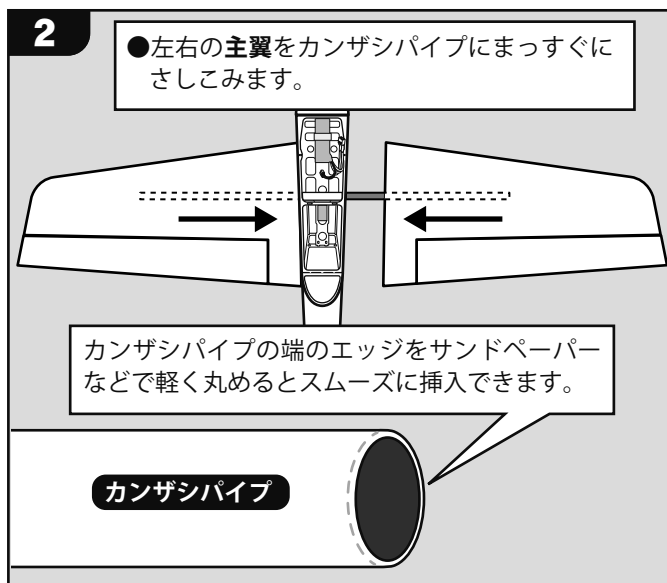
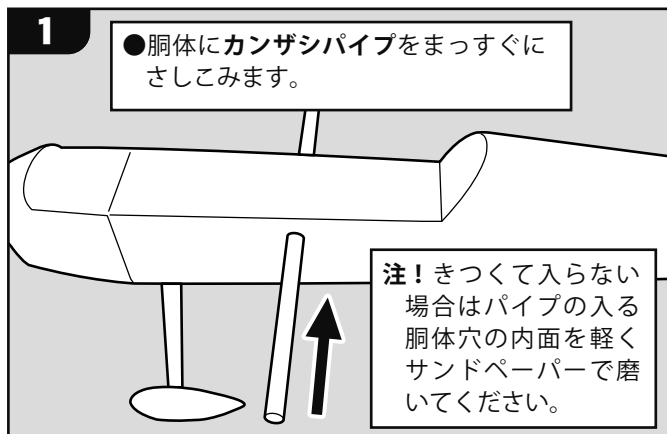
スカイリーフ ワンポイント
アドバイス

動力バッテリーは使う種類によ
って重量がちがうので、最後に指
定の重心位置になるように、搭
載する位置で調整しよう！

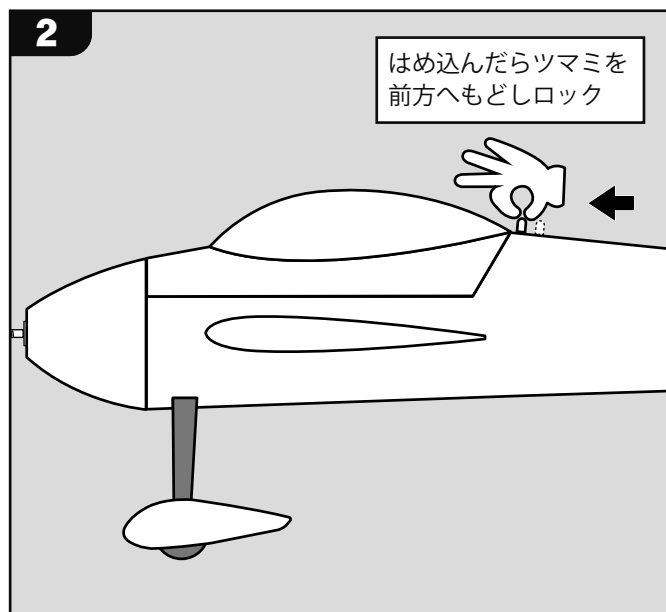
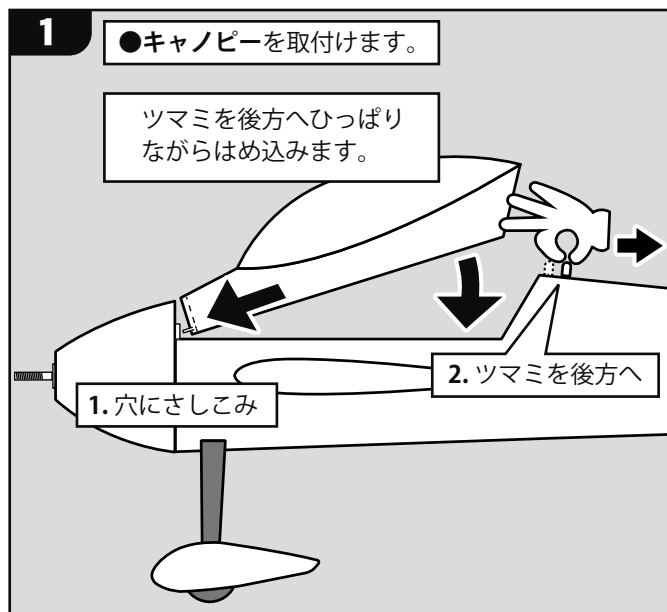


送信機によってモーターコントローラーのCHをリバースに
しなければならない場合があります。はじめに、プロペラを
つけないでモーターをまわして方向を確かめてください。
■不意にプロペラが回転すると大ケガの恐れがあります。

9 主翼の取付



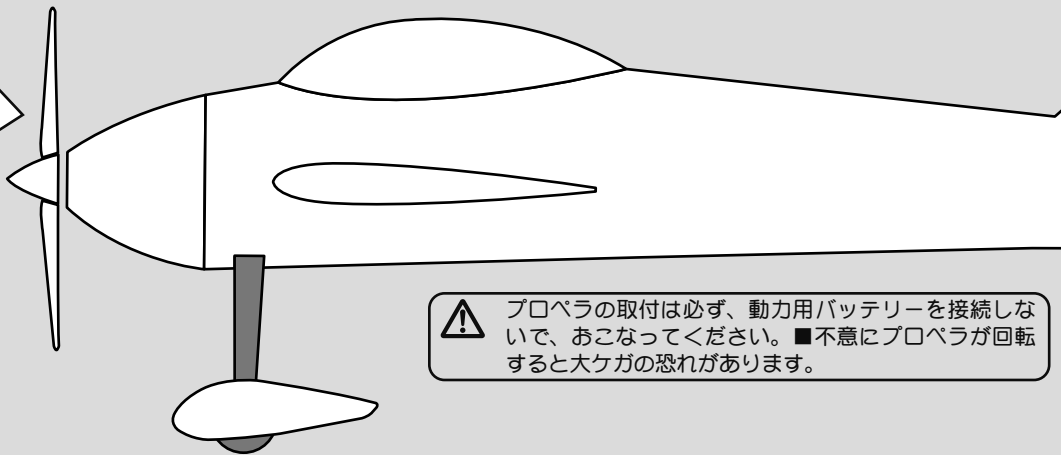
10 キャノピーの取付



✂11 プロペラ・スピナー（別売）の取付

1

●プロペラ・スピナー（別売）はモーター指定のサイズでシャフトに合うものを選びます。

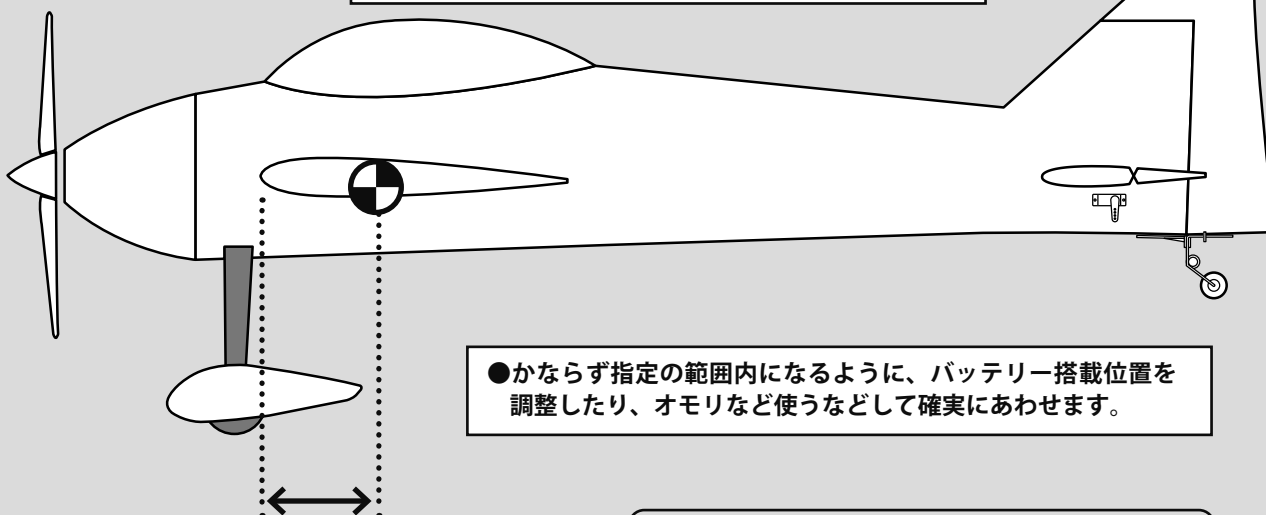


⚠ プロペラの取付は必ず、動力用バッテリーを接続しないで、おこなってください。■不意にプロペラが回転すると大ケガの恐れがあります。

✂12 重心位置をあわせる

これで、組立は完成しました。重心位置は飛行機にとって重要ですので、確実にあわせませす。

●プロペラ・バッテリーなどすべて搭載してはかります。

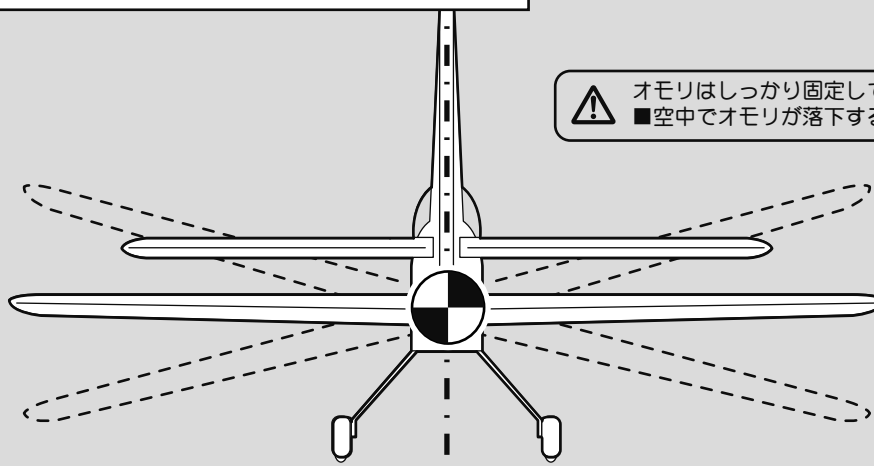


●かならず指定の範囲内になるように、バッテリー搭載位置を調整したり、オモリなど使うなどして確実にあわせませす。

●主翼根本の前縁から 110mm ~ 120mm

⚠ 重心位置が指定外の状態で飛行しないでください。■操縦不能で墜落する危険性があります。

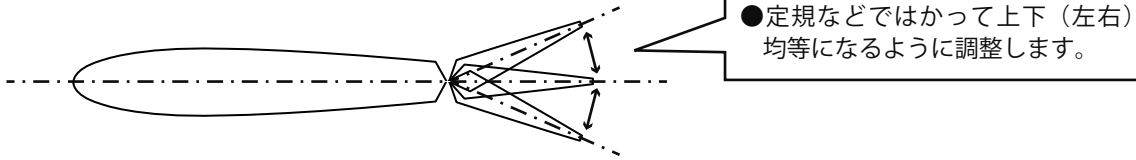
●左右の重さもチェックします。極端にどちらかに傾くようでしたら主翼翼端にオモリを貼り付けバランスをとります。



⚠ オモリはしっかり固定してください。■空中でオモリが落下すると危険です。

✕13 舵角をあわせる

それぞれの舵の方向を確認してプロポのリバース機能であわせます。また、それぞれの舵角を定規などではかって上下左右均等になるように、プロポの舵角調整機能（エンドポイント、EPA、ATV）で調整します。



- プロポを最大操作したときに、各舵が動作する範囲をこえてサーボが動作しようとするとうなりします。負荷がかかりすぎるようだと、サーボが故障するので、プロポの舵角調整（エンドポイント、EPA、ATV）でサーボの動作量を少なく調整してください。



はじめは少ない舵角でフライトしてください。■大舵角は不意の失速で墜落する危険性があります。



スカイリーフ ワンポイント
アドバイス

プロポのデュアルレート（D/R）をつかって、大小2つの舵角を設定すると便利だよ！！
普段は少ない舵角で飛ばして、アクロ飛行時に大舵角にきかえるんだ！
参考にボクの舵角セットを覚えておくね！！ポイントは大き舵角のときはエキスポネンシャル（EXP）のマイナスをふやすこと。大舵角でニュートラル付近が過敏になるのをおさえるのさ！

●通常（小舵角）：	（デュアルレート）	エルロン 40%	エレベーター 50%	ラダー 100%
	（エキスポネンシャル）	エルロン -45%	エレベーター -20%	ラダー -30%
●アクロ（大舵角）：	（デュアルレート）	エルロン 120%	エレベーター 130%	ラダー 120%
	（エキスポネンシャル）	エルロン -90%	エレベーター -80%	ラダー -40%

14 テクニカルデータ

機体名	: スカイリーフ・サンバf
全長	: 1220mm
全幅	: 1220mm
主翼面積	: 29.5d m ²
主翼翼厚	: 完全対称 13%
全備重量	: 1000g ~ 1200g
設計・テストフライト	: Futaba フライトスタッフ

S3776SB (S.BUS2 サーボ) :

- スピード
0.11sec/60° (6.0V)
- トルク
2.4kgf・cm (6.0V)
- サイズ/重量
21.8 × 11.0 × 21.9mm / 10.0g
- 電源
4.0V ~ 6.0V (乾電池使用不可)



Futaba フライトスタッフの戦歴

音田哲男 (おんだ てつお) :

2017	RC 曲技世界選手権	1位
2003 ~ 2016	RC 曲技日本選手権	14 連覇
2004 ~ 2014	RC 曲技アジア・オセアニア大会	6 連覇
2005/11/13/15	RC 曲技世界選手権	2位
2007, 2009	RC 曲技世界選手権	3位
2013	室内電動 RC 曲技世界選手権	3位

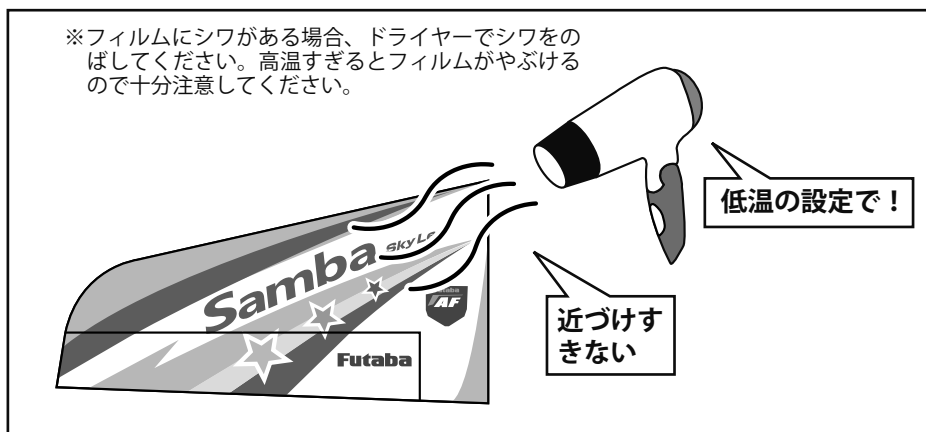
鈴木貢司 (すずき こうじ) :

	RC 曲技日本選手権	連続 34 回出場
	RC 曲技世界選手権	8 回出場
2000	RC 曲技アジア・オセアニア大会	優勝
2013	RC 曲技世界選手権	7位
2015	RC 曲技世界選手権	9位
2013~2016	RC 曲技日本選手権	2位

この製品の修理はおこなっておりません。(付属のサーボは修理可能な場合があります。)

フィルムにシワが発生した場合

※フィルムにシワがある場合、ドライヤーでシワをのばしてください。高温すぎるとフィルムがやぶけるので十分注意してください。



ラジコンカスタマーサービス

製品に関するお問い合わせは下記の弊社ラジコンカスタマーサービスへどうぞ。

双葉電子工業 (株) ラジコンカスタマーサービス
〒 299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080 TEL.(0475)32-4395

双葉電子工業株式会社 ホビーラジコン事業センター・営業部
〒 299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080 TEL:0475-32-6111 FAX:0475-32-2915

©FUTABA CORPORATION 2022年4月 第3版



Futaba®